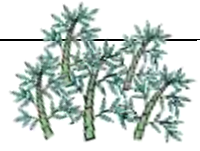


# 群竹



## ◇7月、もうすぐ夏休みです

7月になりました。7月は「文月」とも言います。これは、短冊に歌や字を書いて、書道の上達を祈った七夕の行事にちなんで、「文扱月」が転じたものと言われています。また、水田で稲の穂が見えるようになる頃であることから、「穂見月（ほみづき）」が転じたという説もあるそうです。

新年度の学校生活が始まり3か月、稲の穂と同じように、生徒それぞれのこれまでの学びの成果が見えてくる時期です。またそれは各自の課題が自覚できる時期でもあります。夏休みまで3週間弱となりましたが、生徒それぞれがこれまでの学校生活を振り返り、今後の目標とその達成のための見通しを立て、夏休みが迎えられるよう指導していく考えです。

## ◇第1学年校外学習・日光方面

6月29日(火)、第1学年校外学習が実施されました。例年は東京方面で実施しておりましたが、コロナ禍の影響を考慮し、昨年度に続き県内での実施といたしました。今回は方面を日光市とし、東武ワールドスクウェアの見学と日光市内グループ別行動(東武日光駅近辺～二荒山神社)を実施しました。

今回の校外学習では集団の一員としての自覚を高め、自主的・実践的態度を身に付けさせるとともに、SDGsの体験的な学習を通して、県内の文化、自然等に触れることで、郷土の歴史や文化への理解を深めることをねらいとしました。

出発の際は雨天でしたが、現地に到着の頃には雨も上がり、生徒たちは班の仲間と協力し、各班の計画に従って、見学や体験活動を行いました。





生徒たちは、公共のルールやマナーを意識した行動をとることができました。また、終日の班活動を通して、互いの良さを発見し認め合う様子も見られ、仲間づくりや集団づくりの目的も達成することができました。

コロナ禍の中、緊急事態宣言等が発令された際は、校外学習も延期せざるを得ない状況でしたが、十分な感染症対策を講じた上で無事実施でき、有意義な活動となったことは大きな成果と考えております。

### ◇第3学年租税教室

7月1日(木)3校時、3年生を対象とする租税教室が行われました。

今回は、地元の税理士の方を講師に招き、税の大切さや課税の仕組み、さらに現在の財政状況等について、詳しく説明していただきました。

国の財政の説明では、現在、歳入の1/3が国債(国の借金)であることが課題で、将来の社会を担う自分たち(生徒たち)にも大きく関わりがあるので、自分も主人公で、思いやりの気持ちをもって課題に取り組むことが大切との話がありました。

社会科・公民の授業で税について学ぶのはこれからですが、大切な税について詳しく学ぶ有意義な機会でした。



### ◇様々な事故の防止について

夏休みは水の事故が増える時期ですが、既に他地区においては、川遊びをしながら溺れるなどの水難事故の報道がありました。

佐野市においては、2年前の台風19号災害からの復興として、河川改修が行われ、川の流れが円滑になったとのこと。そのため、場所によっては、水の流れが速くなった箇所があるとのこと。

こうした場所で川遊びをすると、流される危険性があります。秋山川など本校学区内を流れる河川は普段は穏やかに見えますが、各所に危険箇所があります。生徒だけで河川で遊ぶことがないように御家庭でも御指導願います。

また、交通事故防止の徹底については、繰り返し指導を行っているところですが、夏休みを迎えるにあたり、御家庭でも確認をお願いします。